

堂谷津の里 自然だより

2025年 11月

2025. 11. 15

木々の葉が褐色に近い赤や黄色の味わいのある色合いとなり、風が吹くたびに散っていきます。ドングリや落ち葉を踏みしめながら歩く里山、モズの甲高い声、ウグイスの地鳴き、セグロセキレイもやってきました。自然のすべてが冬へ向けてゆっくり歩みを進めています。



晩秋の里山

色とりどりの木の実・草の実



コセンダングサ



オオオナモミ



カラスウリ



ガマズミ



クサギ



ムラサキシキブ



サワフタギ



ヤマコウバシ



センダン



ニシキギ



タコノアシ



ガマ



アオツヅラフジ



トキリマメ



カントウマムシグサ

晩秋の花 今年もひっそり咲いてます。



ヤクシソウ



シロヨメナ



リンドウ



リュウノウギク

<季節メモ> アキアカネ！

稲刈り後の田んぼでよく見る赤いトンボ「アキアカネ」。実は、世界中でも珍しい田んぼと高い山を行き来するすごいトンボだ。一時、減少したと言われるアキアカネだが、里山で見ている限り、再び増加傾向にあるように思える。特に 11 月に入ったところに活動しているアキアカネが目立つようになった。アキアカネの生活史の枠組みが少し遅い方にシフトしたみたいを感じる。このこともまた、温暖化が関係しているのだろうか？



写真・編集：晝間